



ODAがきずなを作る!

「内向き志向」を変え、「実(じつ)のある外交」を進めるために

国際社会の 仲間のために

世界各地でいまだに多くの人々が飢えや貧しさに苦しんでいます。私たち日本人は困っている仲間に手を差し伸べる「真の友」であり続けます。

たとえば、飢えに苦しむアフリカの人々に、食糧を支援します。



ビジネスチャンス を広げるために

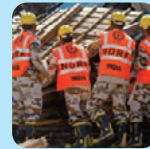
私たち日本人は石油や食べものなどたくさんものを外国に頼っています。また、日本製品が外国で売れるからこそ給料がもらえます。世界中が日本とビジネスをしてくれるよう各国とよい関係をつくります。

たとえば、日本の企業が途上国に工場を建てる時、工場で雇われる予定の現地の人に技術を教えます。



東日本大震災のとき、163の国や地域から支援の申し出がありました。

インドからも、緊急援助隊が駆けつけました。インドにとっては初めての海外派遣です。



地球を、 日本を守るために

人類全体に脅威をもたらす、地球温暖化、テロ、HIV/エイズ、鳥インフルエンザといった問題は他人事ではない、私たち自身の問題です。

たとえば、途上国にも風力発電所を作って、CO₂削減に取り組みます。



被災地にも元気を

人類の未来のため、東日本大震災の知恵と経験を世界の人びとにも学んでもらい、被災地の復興ぶりを世界にアピールします。

たとえば、途上国の人々をおおぜい被災地に招いて、防災と復興の知識・経験を学んでもらいます。



(写真提供: 左下: JICA、左上: 佐藤浩治/JICA、右上: 今村健志朗/JICA)